

# 路地裏の名店発見

今回は読者の方からのリクエストで「路地裏の名店」をご紹介します！普通に歩いていけばつい見過ごしてしまう知る人ぞ知る名店にご案内します！「で、がんす。」片手に名店探しにいざ出発！！



肴町の名店  
**BuonO BuonO**  
[ポーノ ポーノ]

モリオのオススメPOINT!  
店内でピザを食べると  
コーヒーを無料サービ  
スしてくれるよ!

夕暮れに  
オープンする  
路地裏の本格ピザ店。

肴町アーケードから徒歩1分。路地にひっそりとたたずむ「ポーノポーノ」。平日・土曜は夜6時オープンとあり、知る人ぞ知るピザ店だ。数種類の粉をブレンドして26時間熟成させた生地が特徴のこだわりピザは、ミミはふっくらもちもち。中央部分は薄くのばした生地の上に自家製のトマトソースとたっぷりのチーズを使用し、食べ応えも十分。テイクアウトやデリバリーの他、店内にもカウンター席が設けられており、その場で出来たてを楽しむこともできる。「自家製ピクルス

▲人気の「フレッシュトマトのマルゲリータ(1,100円)」  
▶店内はカウンター席のみ。テイクアウトのお客さまが多いという。

(400円)」や「海老のガーリック焼き(500円)」など、サイドメニューもあるのでちょっとしたパーティーにもオススメ。リーズナブルでおいしい『ポーノポーノ』の本格ピザを、ぜひ一度お試しあれ。

**Shop Data**  
Pizza BuonO BuonO  
〒020-0878 盛岡市肴町10-5  
TEL.019-613-8181  
[営業時間]平日・土曜 18:00~23:00  
日曜・祝日 11:00~23:00  
[定休日]曜日

本町の名店  
**ヌック**

モリオのオススメPOINT!  
コーヒーを飲みながら  
誰でも気軽にアートに  
触れることができるよ。

おいしいコーヒーと  
アートに囲まれて  
芸術の秋を楽しむ。

本町通りの路地を入ると見えてくる小さな喫茶店「ヌック」。創業以来35年、常連さんの心地良い笑い声と木の温もりに包まれ、コーヒー片手に会話を楽しむことができる昔ながらの喫茶店。サイフォンで淹れる本格コーヒーの香りが漂う店内には、昭和のノスタルジックな面影が今なお息づいて、どこか懐かしい雰囲気が広がっているものの、それが新鮮に感じられる。こちらではギャラリーも兼ねていてお客様のご要望があれば、プロ・アマ問わず多くのアーティ

▲滑らかな舌触りとアクセントのレースンが絶妙なケーキセット(650円)  
▶思わず長居してしまう落ち着いた雰囲気の店内。

スト達のプチ個展も無料で開催しているので個展をやりたい人は問い合わせを。待ち合わせや、一人でもフラリと立ち寄れるアットホームな喫茶店で、アートを眺めながら芸術の秋を楽しむのもいいかもしれませんね!

**Shop Data**  
ヌック  
〒020-0015 盛岡市本町通2-14-23  
TEL.019-654-4365  
[営業時間]11:00~19:00  
[定休日]日曜日、祝日

中ノ橋の名店  
**ひねもす ぽっと茶屋**

モリオのオススメPOINT!  
ティータイムにはケーキ  
セットも。おいしいコー  
ヒーでほっとひと息。

ひと味違う  
京風の白いおでんで  
“ぽっ”と温まろう。

IBCのすぐ近くにあるこちらは、昼間はランチ・喫茶、夜はお酒と1日の色んな時間を楽しめるお店。寒い時期のオススメは『ひねもすおでん』。店主の吉田さん曰く“白いおでん”は昆布だしの透明なスープが特長で、素材に昆布だしがぎゅっと詰まった、ここでしか味わえないおでんだ。他にも、旬の素材を取り込んだ日替わりメニューは全て300円とお手ごろ価格。量は少な目だが、ちょっとずつ色々な物を食べたいという女性心をくすぐる、嬉しいポイント。ポジョレー解禁に合わせて、オ

▲おでんは1品100円!  
1日7食ほどの限定メ  
ニューなので早めに。  
▶店奥の座敷では宴会もOK(15名位まで)。メニューはお客様の好みでアレンジするので、まずはご相談を!

リジナル和風ソースのローストビーフも登場するのでお楽しみに。また、『ぽっと生姜焼酎』や、『ぽっとワイン』など温かいアルコールもオススメ。吉田さんとおしゃべりとあったかメニューで身も心も“ぽっと”になろう。

**Shop Data**  
ひねもす ぽっと茶屋  
〒020-0871 盛岡市中ノ橋通2-6-2  
TEL.019-653-5541  
[営業時間]11:00~23:00  
[定休日]日曜日

■タイトルの「で、がんす。」とは… タイトルの「で、がんす」は盛岡弁で「オハヤガンス」(おはようございます)「オハンデガンス」(こんばんは)など、「〜でがんす」という風に、ことばの後に使われる言葉です。盛岡では多くの人々が解るであろうこの言葉から、親しみやすさを持っていただき、また、一目でローカルな地域情報を発信していることが解るタイトルとしました。一部の年代層をターゲットとするのではなく、多くの年代の方々に見ていただくことを目指しています。